

報道用資料

**「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2009 参加校募集：テーマは読み書き（識字）！
2009年4月20日から26日開催（この間1回の授業）**

教育協力NGOネットワーク(JNNE)（代表 片山信彦／所在地 東京都新宿区／URL <http://jnne.org/> 以下 JNNE）は、全ての人が教育を受けられる世界を目指して、途上国の教育支援を日本に広める活動を行っています。そして、2009年4月20日から26日まで、全国の学校を対象に「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2009～世界の子どもたちと「読み書き」について考えよう！を行ないます。

世界同一テーマ・同時期に行なう国際理解教育を小中学校で開催

世界では5人に1人（7億7,600万人）の大人が文字を読むことができません。7,500万人の子どもが学校に通えていません。世界120カ国で同時期に行なわれる当キャンペーンの2009年のテーマは「識字」。今年5月にブラジルで開催されるユネスコ第6回国際成人教育会議でも識字は第一の議題になっているほど、全世界で関心が高まっています。また、当企画を推進するGCEが掲げるミッションの1つが「識字の改善」でもあります（2P目参照）。

キャンペーンの目的は、世界の教育課題と解決へ向けた活動を子どもを含む多くの人々に伝え、自分たちにできることの可能性を考えもらうこと。その方法として、JNNEが作成した教材を参加希望の小中学校に送り、約30分の授業を学校で行なっていただきます。

このキャンペーンは、ユネスコ、ユニセフの後援のもと、2003年から毎年4月下旬に日本を含む世界中で同時に開催されてきました。昨年日本の参加は214校、25,838名。世界全体では880万人の子どもが参加しました。今年は世界の子どもたちがともに「読み書き」について考える一週間となります。



教員とNGOの協力による体験型授業

JNNEは、途上国の教育支援に取り組むNGOが持つノウハウを生かし、ポスター教材と教員の手引きを作成し、参加校へ郵送します。先生は、このポスター教材を活用して授業を進めます。子どもたちは見たことのない文字がついたラベルを見て、どれが薬で毒薬か判断する、という体験を通して、文字を知らないと生きていくのが難しいということを自然に知ることとなります。また、同じような困難を抱えた人々が世界にはどのくらい存在し、その背景には何があるのかにも注目していきます。子どもたちが体験を通して、世界の識字問題を掘り下げていくことができます。世界では、このような取組みによって過去8年間に4,000万人の子どもが学校に通えるようになりました。



-----イベント概要-----

タイトル：「世界の子どもに教育を」キャンペーン 2009 参加費用：無料

後援：文部科学省、外務省、国際協力機構(JICA) 他

日時：2009年4月20日（月）～26日（日）の間に

教材を使って30分程度の授業を1回開催

参加条件：申込みされた全国の小・中学校、専門学校、

塾、ゼミなどのグループで可能です。

無料教材送付。

希望校へJNNE参加NGOの講師派遣（首都圏）。

申込方法：指定の申込書にて事務局へFAX送付

締め切り：2009年4月8日（水）

■ 当リリースに関するお問い合わせ

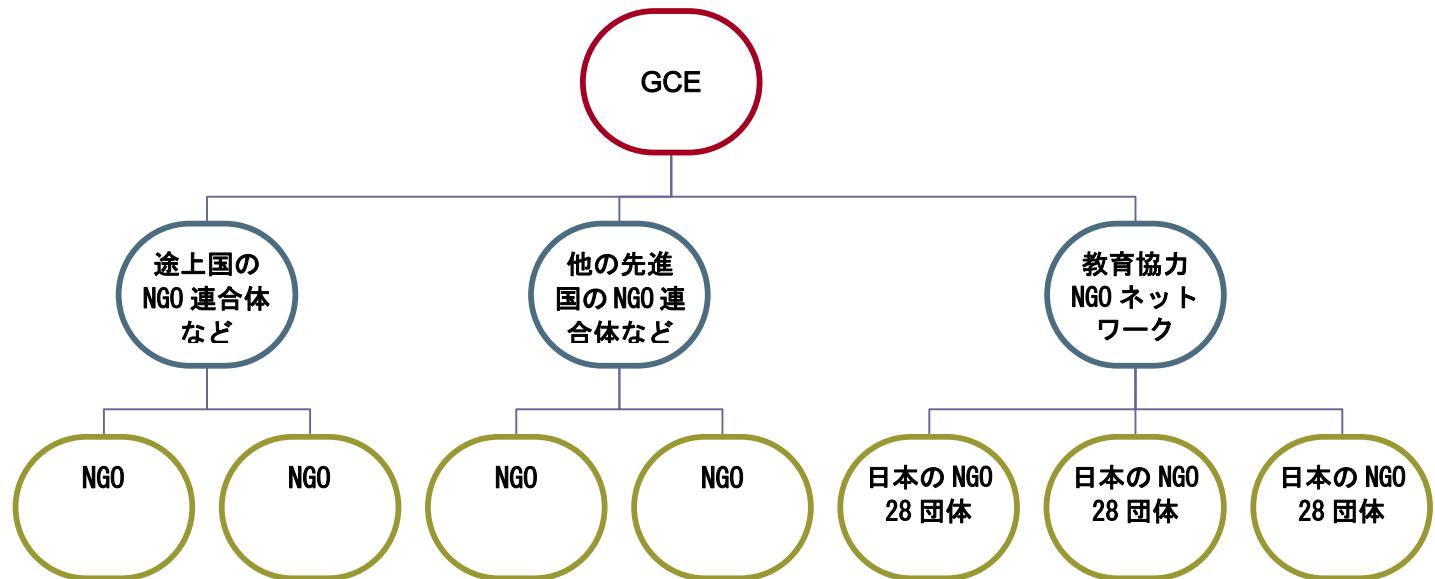
世界中の子どもに教育をキャンペーン事務局 担当：伊藤（いとう）

所在地：東京都新宿区大京町31 慈母会館3F (社)シャンティ国際ボランティア会内

電話 03-5360-1245 FAX 03-5360-1220

ホームページ：www.jnne.org/gce2009 メールアドレス：gaw2009@hotmail.co.jp

「世界中の子どもに教育を」 キャンペーン組織図



「世界中の子どもに教育を」 キャンペーンは、南アフリカヨハネスブルクに本部がある Global Campaign for Education (GCE) を中心に行なっています。GCE は、世界中の様々な市民団体、国際的に教育協力をを行う NGO、労働組合などからなる市民連合組織です。世界の教育の現状を伝え、理解してもらい、世界中の全ての人々が質の高い基礎教育を受けることを目指しています。その指標となるのが「万人のための教育(EFA : Education for ALL)」の 6 つの目標。2000 年 4 月にダカール（セネガル）において、ユネスコ、ユニセフ、国連開発計画、国連人口基金及び世界銀行の主催により開催された「世界教育フォーラム」において設定されました。2015 年までに世界中の全ての人たちが基礎教育を受けられる、字が読めるようになる（識字）ための取組みです。

万人のための教育 (Education for ALL:EFA) 6 つの目標

- 目標 1. 就学前保育・教育の拡大と改善。
- 目標 2. 2015 年までに無償で質の高い教育をすべての子どもに保障。
- 目標 3. 青年・成人の学習ニーズの充足。
- 目標 4. 2015 年までに成人識字率を 50% 改善すること。
- 目標 5. 2005 年までに初等・中等教育における男女格差を解消し、2015 年までに教育における男女平等を達成すること。
- 目標 6. 読み書き、計算能力など教育のあらゆる面における質の向上。

「世界中の子どもに教育を」 キャンペーン過去のテーマ

- ・2003 年 女子の教育についての世界一大きな授業（200 万人が参加）ギネス記録
- ・2004 年 世界一大きな政治家への働きかけ（250 万人が参加）
- ・2005 年 「学校へ友だちを送ろう」 キャンペーン（500 万人が参加）
- ・2006 年 「全ての子どもに先生を」 キャンペーン（550 万人が参加）
- ・2007 年 教育の権利をみんなの手に！「世界一長い人間の鎖」（550 万人が参加）
- ・2008 年 「世界一大きな授業」（880 万人が参加）ギネス記録
- ・2009 年 世界の子どもたちと「読み書き」について考えよう！